

若い教師を支援するとは？ （藤川大祐）

これからの社会

1. 変化し続けるデジタル社会 （ムーアの法則：電子機器の性能は1.5年で2倍）
2. 社会の問題は、自分たちで解決するのが基本
3. セーフティ・ネットとしての弱い絆 weak ties
4. 同質原理でなく異質原理、同調でなく差別化、厳格さでなく寛容さ

これからの学校

1. 「自分だけのために」から「誰かのために」（利他的な夢を描く）
2. 個人としての問題解決から、集団での問題解決へ
3. 個々の子どもの特性を超えた、協働的な学びへ
4. 社会とつながることによって、呼吸をし、代謝をするように変わる学校へ

これからの教師

1. （子どもに）教える人より（子どもを）探る人、かつて学んだ人でなく今、学んでいる人
2. 日本の学校教育の成果を受け継ぎ、新たな学校文化をつくっていける人
3. 「不機嫌な職場」ならぬ「上機嫌な職場」をつくっていける人
4. 危機管理、広報、事務効率化、ワークライフバランス等、一般社会の常識を共有する人

教師が学ぶ場をつくる

1. 学校現場での実践的研究の支援、現職教師が学べる大学・大学院
2. 教師たちの財産伝承の場としての「明日の教室」（毎月1回、東京分校開催中！）
3. 教師が「越境」して社会とつながれる場（千葉授業づくり研究会、メディアリテラシー教育研究会等）
4. 日常的にネットでつながる（ブログ、Twitter、Facebook等）